

# 第五六回BCS賞 表彰式を挙行



中村会長から表彰状を受け取る㈱ROKIの島田社長

当会は、昨年十一月十六日、東京・千代田区の帝国ホテルにおいて、第五六回BCS賞表彰式を開催し、「ROKI Global Innovation Center -ROGIC-」など一四件の建築作品を表彰しました。

最初に、中村満義会長が、「いずれの作品も建築主の深い想いと設計者・施工者の創造力・技術力が見事に結実した作品ばかりであり、受賞された皆様のご努力に対し深く敬意を表するとともに、今後益々のご発展を祈念します」と挨拶しました。続いて第五六回選考委員を代表して佐藤滋早稲田大学教授が審査報告を述べました。

このあと、今回の受賞作品全一四件を映像により紹介し、引き続き中村会長が各受賞作品の建築主に表彰状を手渡しました。

次いで、来賓を代表して国土交通省の杉藤崇



冒頭で挨拶する中村会長

大臣官房審議官から石井啓一国土交通大臣の祝辞の代読があり、日本建築学会の中島正愛会長から祝辞をいただきました。最後に、受賞者を代表して㈱ROKIの島田貴也社長から「ROGICは、劇的に変化する事業環境にあつてさらなる成長発展のための技術研鑽の場という理念・イメージを、設計者・施工者をして多くの関係者が徹底したプロ意識と卓越した技術、抜群のチームワークで取り組んでいただいた結果でございます。豊かな自然環境に溶けこむ第一級の研究施設を具現化できたことは大いなる喜びであり、感慨の念に堪えません」との挨拶をいただきました。

表彰式終了後、引き続き懇親祝賀会を行い、約四五〇名近くの多数のご出席をいただき、盛況裡に終了しました。

## エコプロダクツ二〇一五に出展 建設業のエコ活動をわかりやすく紹介

当会は昨年十二月十日から十二日までの三日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催された日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ二〇一五」（主催：産業環境管理協会、日本経済新聞社）に出展した。

当会の出展は今年で一〇回目となり、今回のテーマは「けんせつECO祭」。来場者にとって親しみやすい雰囲気ブースとするため、ブース正面には半纏姿をしたマスコットキャラクター「ビーバー所長」の巨大イラストパネルを設置。ブースの外回りには会員企業一三九社の社名が入った提灯を飾り、ブース中央には会員企業各社のヘルメットの飾ったタワーを展示し、来場者の興味を惹くブースデザインとした。

ブース内では、建設業が建物や構造物のライフサイクルを通じて展開している環境への取組みを紹介。スケール感のあるホタルビオトープや環境配慮型解体の模型を展示。壁面パネルでは「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」のテーマごとに、写真やイラストでわかりやす



左/日建連ブース正面。3日間で約7,500名が来場した

右上/ビオトープの模型に見入る親子 右下/来場者に建設業の環境への取組みを紹介

く事例や技術を解説した。「ZEB」「3R」などのキーワードを覚えてもらうため、パネル内に解答のある「けんせつECOクイズ」を実施し、参加者に当会オリジナルの「安全第一」手ぬぐいをプレゼント。大好評で用意した六、〇〇枚すべてを会期中に配布した。今回の出展にあわせて作成した子供向け環境冊子「発見！エコテック」も六、〇〇〇部を来場者に配布できた。

会期中、当会ブースは親子連れや小中学生たちで大変賑わい、三日間合計で約七、五〇〇名の来場者があった。環境の切り口から建設業に興味・関心を持ってもらうきっかけづくりとなった。

また、事前の企画・準備から会期中のブース運営まで環境委員会環境経営部会の委員を中心に多くの会員関係者にボランティアでご協力いただいた。この場を借りてお礼申し上げたい。

なお、当会では今後も各種イベントや環境教育などを通じ、一般社会に向け、建設業の役割や環境活動を幅広くアピールしていく。